

8.

社会貢献

▶社会貢献概要

ジェンダー研究所所属研究者は、行政機関が開催する男女共同参画関連講座の講師を担当したり、メディアの専門家取材に応じるなど、研究成果の社会還元に取り組んでいる。2022 年度もオンラインならびに対面の講演会での講演や各種メディアの取材対応など、ジェンダー研究の成果を積極的に発信した。

■海外機関招聘講演等

申琪榮（教授）

- ・ コンラードアデナウアー財団 Asian Women Parliamentarian Caucus Meeting, Substantive Representation of Women by Parliamentarians in Asia—A Comparative Study 出版記念ワークショップ、報告及びパネルモデレーター
- ・ 韓国慰安婦問題研究所 2022 年専門家フォーラム「日本軍慰安婦問題の問題化——共存への模索」第 2 部ラウンドテーブル「日本軍慰安婦「問題」は民主主義」パネリスト、2022 年 8 月 29 日
- ・ アメリカ政治学会主催 Asia and Pacific Political Science Research and Publication Conference メンター及びコメンテーター、バンコク、2022 年 7 月 21～24 日
- ・ 韓国ジェンダー法学会・ジェンダー政治研究所主催、第 29 回ジェンダー法ブランチャ「ヨイド MeToo——政治領域の構造的特徴とヒエラルキを超える」パネリスト、2022 年 5 月 27 日

■他大学や研究機関での講演等

申琪榮（教授）

- ・ 岩手大学 文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ(女性リーダー育成型) 事業「I.W.A.T.E. 1 in 3 女性リーダー職倍増プラン」キックオフシンポジウム基調講演「グローバルな視座から見た日本のダイバーシティ推進と女性リーダー育成の課題」、2023 年 3 月 13 日
- ・ 上智大学 プロフェッショナル・スタディーズ 講座、2022 年 11 月 28 日
- ・ 慶應大学 国際ワークショップ「Gender and Political Representation in Asia and Beyond」、コメンテーター、2022 年 11 月 25～26 日
- ・ 池田緑 基盤研究 B『経験的概念としての「ポジショナリティ」の発展的研究』研究会 招聘報告 2022 年 6 月 11 日
- ・ 立教大学 Modern Japanese History ゲスト講義（英語）「Women in Japanese Politics: A Comparative Perspective」、2022 年 6 月 10 日

大橋史恵（准教授）

- ・ 東京女子大学大学院 人間科学研究科 人間社会科学専攻 グローバル共生社会分野主催 東京女子大学大学院セミナー「ジェンダー視点による現代中国研究の動向」、2022 年 10 月 21 日

■男女共同参画センターや NPO 法人等での講演

申琪榮（教授）

- ・ 島根県立男女共同参画センターあすてらす、あすてらす国際女性ウィーク基調講演「女性議員はなぜ増えない？どう増やす？～諸外国の取り組みから学ぶ政治分野における男女共同参画～」、2023 年 3 月 3 日
- ・ 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス「政治分野における男女共同参画について～多様な声を政治に届けて暮らしを豊かに～」、2022 年 12 月 17 日
- ・ After MeToo 上映会 ゲストトーク、福島市、2022 年 11 月 12 日

- ・ 唐津市男女共同参画ネットワーク“レゾナ” 第 28 回唐津市男女共同参画推進フォーラム、2 回フォーラム「生活者目線で考えよう 政治と地域の課題」、2022 年 10 月 8 日
- ・ 働く女性の人権センターいこ☆る 夏の講座 「オジサン政治を終わらせるために～パリテ実現に向けて、今、私たちにできること」、2022 年 7 月 31 日
- ・ 台東区立男女平等推進プラザ「はばたき 21」主催 男女平等参画推進講座「もっと知ろう政治のこと～女性が参加するとどう変わる～」、2022 年 7 月 30 日
- ・ もりおか女性センター「男女共同参画週間もりおか展 2022」基調講演「“私”の Voice から“私”の Life へ～なぜ女性の政治参画が必要なのか～」、2022 年 6 月 18 日

本山央子（特任リサーチフェロー）

- ・ NPO 法人ピースデポ「第 8 回脱軍備・平和基礎講座」講演「フェミニスト平和研究が問うてきたもの」2022 年 12 月 17 日

■ 地方公共団体男女共同参画事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 兵庫県明石市「ジェンダー平等の実現に関する検討会」委員（2021 年 12 月～2022 年 6 月）

■ NPO 事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 女性政治リーダーを養成する一般社団法人「パリテ・アカデミー」(Academy for Gender Parity) 共同代表。一般向けオンライン講座や講演会を企画・開催。

■ 新聞等記事へのコメント提供ほか

申琪榮（教授）

- ・ 『NEWS PICKS』2022 年 4 月 18 日「【新図解】日本が韓国に抜かれたこと、抜かれてないこと」
- ・ 『毎日新聞』2022 年 4 月 29 日「論点 フェミニズムの現在地「韓国、若年女性が政治に」」
- ・ 『東京新聞』『中日新聞』2022 年 4 月 29 日「特報部 候補者は外見で選ばれている？」
- ・ 『ふえみん』No.3320（2022 年 5 月 25 日）「●申琪榮さんに聞く 韓国大統領選挙と日本の次の参議院選挙 もう女性たちの声は無視できない」
- ・ 『朝日新聞』2022 年 6 月 1 日「政治の世界 知ることから」
- ・ TBS ラジオ『荻上チキ・Session』2022 年 6 月 22 日「荻上チキ・Session_特集「参議院選挙がきょう公示。女性と若者の政治参加のためにいま、何が必要か」 能條桃子×申琪榮×荻上チキ」
<https://www.tbsradio.jp/articles/56005/>
- ・ 『西日本新聞』2022 年 7 月 12 日「「議場に女性を」道半ば」
- ・ 『東京新聞』2022 年 7 月 12 日（1 面）「女性当選 35 人 過去最多 全体で 4 分の 1 止まり」
- ・ 『東京新聞』2022 年 7 月 12 日（3 面）「候補者内の女性割合≡当選者内の女性割合 各党で傾向 女性議員像へのヒント」
- ・ TBS ラジオ『荻上チキ・Session』2022 年 7 月 14 日「【音声配信】特集「参院選をきっかけに改めて考える女性の政治参画」 三浦まり×申きよん×永田夏来×荻上チキ×南部広美」
<https://www.tbsradio.jp/articles/56865/>
- ・ 『日本経済新聞』2022 年 7 月 18 日「参院選、女性当選者数が過去最多」

- ・『f visions』no.5（2022年7月号）2022年7月20日「政治にうんざりしている場合じゃない私たち～日本と韓国の選挙から考える」
- ・『PRESIDENT Online』2022年7月28日「韓国に大差をつけられ116位...日本のジェンダーギャップが「12年前のレベルに"後退"した」ワケ：「外国が頑張っているから遅れて見えるだけ」はウソだった」
<https://president.jp/articles/-/59839>
- ・『PRESIDENT WOMEN Online』2022年7月28日「韓国に大差をつけられ116位...日本のジェンダーギャップが「12年前のレベルに"後退"した」ワケ：「外国が頑張っているから遅れて見えるだけ」はウソだった」
<https://president.jp/articles/-/59983>
- ・テレビ朝日『テレメンタリー2022 (Youtube)』2022年7月30日「「女性議員が増えない国で」オトコ社会の選挙に挑んだ記録～「ママでもできる」つらぬいた」（インタビュー）
<https://www.youtube.com/watch?v=Aneney6B6Sk>
- ・『Christian Sciences Monitor』2022年8月23日「Female candidates_ Japanese women push to change political landscape」
- ・『日本経済新聞 電子版』2022年8月29日「欧米政権で女性要職相次ぐ」
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO63773680W2A820C2TY5000/>
- ・『中日新聞』2022年9月4日「増えない女性議員 クォータ制 議論進むか」
<https://www.chunichi.co.jp/article/539008>
- ・『東京新聞』2022年10月17日「子育てしながら地方議員目指す母親、応援します 統一地方選の立候補者募集、ボランティアも」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/208677>
- ・『The Japan Times』2022年10月17日「Project aims to help mothers run in Japan's local elections next year」
<https://www.japantimes.co.jp/news/2022/10/17/national/politics-diplomacy/mothers-local-elections-support-project/>
- ・『働く女性の情報誌 いこ★る』vol.66（2022年10月号）「いこ☆る夏の講座「オジサン政治を終わらせるために」～パリティ実現に向けて、今、私たちにできること（講義録）」
- ・『共同通信 東京五輪評論集 識者・記者の視点』2022年10月「視標「森会長辞任」男性政治家自らが変革を 急がれるクォータ制導入」
- ・『AfterMeToo 上映会@福島パンフ』2022年11月11日「映画「AfterMeToo」との出会い」
- ・『日本経済新聞 電子版』2023年1月9日「Z世代の女性、政治参画広がる「私も誰かの希望に」」
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCD091RU0Z01C22A2000000/>
- ・『信濃毎日新聞』2023年1月22日「女性議員増へ どう「壁」解消」
<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023012100816>
- ・『共同通信』『愛媛新聞』『静岡新聞』『信濃毎日新聞』『福島民友』『福井新聞』『山梨日日新聞』『茨城新聞』『山口新聞』ほか2023年3月4日「都道府県議会調査 ハラスメント独自対策3割」
- ・『中国新聞 SELECT』2023年3月7日「女性の政治進出 冷淡？ 地方議会」
- ・『The Japan Times』2023年3月8日「Would gender quotas for lawmakers work in Japan」
<https://www.japantimes.co.jp/news/2023/03/08/national/social-issues/gender-equality-politics-quotas/>
- ・『東京新聞』2023年3月31日「子育て選挙 託児の壁」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/241182>